

パブリックコメント及び市議会（交通観光特別委員会）でいただいたご意見への回答・対応

No	区分	意見箇所	ご意見	回答・対応
1	パブリックコメント	本編 46 p 施策 1 取組 1-5	<p>小矢部市在住高校生は、小矢部市外の高校などに多数通学している。高校生は車の運転ができないので保護者等の送迎に頼っているのが現状である。</p> <p>中学生が高校の進学先を選定するときに通学方法で選択肢が狭められるのは大変な問題である。</p> <p>また、隣接市住民も小矢部市内の高校など通学等している。高校生は車の運転ができないので保護者等の送迎に頼っているのが現状である。</p>	<p>【回答】</p> <p>高校生の通学手段の拡充を目的とした市域を跨ぐ市営バスの乗り入れは、取組 1-5 の内容のとおり民営路線バスのダイヤ改正・増便の要望を優先した上で、交通事業者や隣接自治体と協議・調整しながら、必要に応じ検討したい。</p>
2	パブリックコメント	本編 48 p 施策 3	<p>民営路線バス特に加越線は、本数が少なく（1日3本）料金も高いので利用者は極端に少ない。廃止して、市営オンデマンド交通に切り替えるべきである。</p>	<p>【回答】</p> <p>民営路線バスを廃止させ広域的にオンデマンド交通を展開することは、新たな車両や運転手の確保が想定され、運転手不足が叫ばれる中、慎重に検討すべきであると考えている。</p> <p>取組 1-5 の内容のとおり民営路線バスのダイヤ改正、増便の要望を優先した上で、必要に応じ、交通事業者や隣接自治体と協議・調整しながら検討したい。</p> <p>また、取組 6-1 に掲げているように民営路線バスを利用する高校生に対し、鉄道利用料金との格差是正を目的とした通学割引を導入する予定であり、利用料金の負担軽減を図ることとしている。</p>
3	市議会	本編 39 p	<p>目標指標の運転免許自主返納者数について、目標として必要なのか。75 歳以上の高齢者になって運転しているのが悪いように受け止められる。</p>	<p>【委員会での回答】</p> <p>運転免許に不安を覚える方に対して、公共交通の環境整備を行うことで、運転免許の自主返納につなげていくという趣旨である。自主返納を強制するといった趣旨ではないが、それでも目標指標としてふさわしくないということであれば、外すことを検討したい。</p> <p>【対応】</p> <p>「運転免許自主返納者数」は、目標指標として掲げない。</p>

4	市議会	本編 43 p～	<p>各取組のスケジュールについて、いずれも「R6～」と表記されているが、「取組検討」など新たに取り組むものは、その具体的なスケジュールを示したらどうか。全ての取組について、R6 から検討を始める必要はない。</p>	<p>【委員会での回答】 5年間の計画期間の中でどう取り組むか、具体的なスケジュールを示せるよう検討したい。</p> <p>【対応】 スケジュール欄に取組内容と取組年度を表記する。</p>
5	市議会	本編 55 p	<p>取組 8-4「運転免許返納の促進」について、免許を返納させることを促進するということが、高齢者の自由を奪うように受け止めかねない。「免許返納者に対応するシステムづくり」や「免許返納者、車のない方に対する環境整備」という言い方等なら理解できるが、免許返納の促進という表現がいいとは思えない。</p>	<p>【委員会での回答】 運転に不安を覚える方が免許返納した場合でも、住み慣れた地域で安心して暮らすための公共交通の環境整備という目的だが、誤解を招くようなら、表現の修正について検討したい。</p> <p>【対応】 取組 8-4「運転免許返納の促進」を「運転に不安を感じる方への支援」に修正。</p>